

ダム守同心情報連絡票(第24号)

この情報連絡票は、灰塚ダムのダム守同心の方々並びに関係者の皆様に三次河川国道事務所灰塚ダム管理支所から灰塚ダム及びハイヅカ湖に関する情報をお届けするものです。

1. 今年もフラッシュ放流の季節となりました。

灰塚ダムには環境を目的とした放流を行う「環境用水放流設備」を備えています。

この施設を使って、川の中にある石の表面を洗い流して、アユが好む新鮮なコケが生える環境をつくりだすなどの河川環境保全を目的とした「フラッシュ放流」を年1回程度実施することとしています。

今年は3月18日(火)の朝9時頃から放流を開始し、夕方の5時頃にピーク(毎秒約100トン)を迎え、夜の8時頃に終了する予定です。

ちなみに、昨年度は3月22日に最大毎秒75トンのフラッシュ放流を行っていますが、上下川ではその時より10cmくらい水位が高くなると予想されます。

昨年度と同様、急激な水位上昇をしないように徐々に放流量を増やしますので、当日はサイレンを鳴らしませんが、パトロールやアナウンスなどを行いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

2. いきいきの“わ”が広がっています。

ハイヅカ湖地域の「いきいき」を増進するために、計画づくりが委員会、分科会で進められ、アイデアも沢山集まっています。計画をつくるだけでなく、自然を楽しんだり、様々な取り組みが既に始まっています。

もり沢山のアイデアと元氣をとりまとめたものを近く公表しますのでお楽しみに。

引き続き、里湖(さとうみ)の明るい未来に向けて、将来へのロマンを描き、柔軟で幅広い力の集結に頑張ります。

是非参画をお願いします。

3. 灰塚ダム諸量

本日のハイヅカ湖への流入水量は毎秒3.4トン、ダムから下流への放流量は毎秒4.3トンです。

フラッシュ放流に必要な水を貯留しており、ダムの水位は常時満水位より1m

程度高くなっています。

オノ峠広場など水際が上がっていますので、湖面利用等される場合は注意願います。

4. 本号の最後に

ハイヅカ湖地域に、セツブンソウなどの春植物の見学にいろいろな地域から沢山の方がみえられています。

親切な案内が好評のようです。

普段から地域の自然を大切にし、それを独り占めせずいろいろな方に案内される地域の方々の取り組みには頭が下がります。

ハイヅカ湖地域には春でも、セツブンソウ、桜、カタクリ、ショウジョウバカマ、カザグルマなど場所と時期によっていろいろな花が楽しめます。

これをマップとカレンダーが合体したような四次元マップにできたら楽しいだろうなと考えています。

花が咲き、春らしく新鮮な気持ちになれる風景がみられるようになってきました。

フラッシュ放流で、川の中も、生き物を育む新鮮な環境となるように努力します。

前日、当日は設備の点検、操作、監視などで普段どおりの窓口対応や施設のご案内等ができかねますが、ご容赦願います。

◇ 問い合わせ等連絡先 ◇

国土交通省 三次河川国道事務所 灰塚ダム管理支所

支所長 今岡 俊和 (imaoka-t87mb@cgr.mlit.go.jp)

事務係長 片山 直行

〒729-4302 広島県三次市三良坂町仁賀1575

電話:0824-44-4360(代) FAX:0824-44-3544